

平成 28 年度
亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略
評価検証報告書

亀山市

企画総務部企画政策室

【目次】

1. 評価検証に係る基本的な考え方	1
(1) 評価検証の目的	1
(2) 評価検証の対象及び手法	1
(3) 評価検証の流れ	1
2. 評価検証の具体的な方法	2
(1) 亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価検証	2
(2) 地方創生関連交付金活用事業の評価検証	4
3. 亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価検証	5
(1) 基本事項	6
(2) 戦略の評価	7
4. 地方創生関連交付金活用事業の評価検証	23
総括評価	25
(1) シティプロモーション戦略事業	26
(2) 移住・交流促進事業	28
(3) 若者交流推進事業	30
(参考資料)	
亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略平成28年度対象事業一覧	33

1. 評価検証に係る基本的な考え方

(1) 評価検証の目的

総合戦略に位置付けた各施策の更なる推進に向けた課題の改善を図り、より一層高い効果を発揮させることを目的として、評価検証を行う。

また、総合戦略に位置付ける事業の一部は国の地方創生関連交付金を活用しており、その実施計画及び地域再生計画において、各事業の検証を行い公表することが明記されていることから、交付金活用事業の評価検証を併せて実施する。

(2) 評価検証の対象及び手法

本検証は、「総合戦略の施策評価」及び「地方創生関連交付金活用事業の事業評価」で構成する。

評価対象	手法
総合戦略	戦略全体の総括評価・各基本目標の施策評価
地方創生関連交付金事業	KPIの検証を中心とした事業評価

また、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証の考え方に基づき、「数値目標」及び「重要業績評価指標(KPI)」の達成度を確認し、結果重視の検証を行う。

《国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略(2016改訂版)」より抜粋》

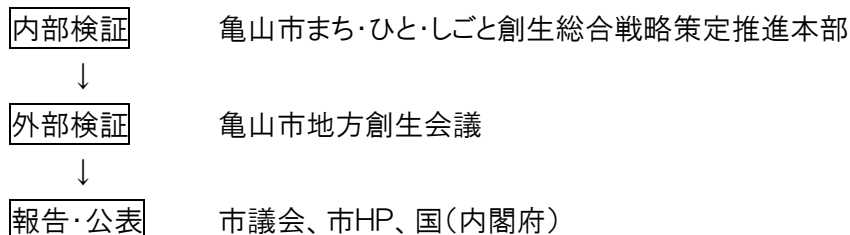
(5) 結果重視

効果検証の仕組みを伴わないバラマキ型の施策は採用せず、明確なPDCAメカニズムの下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。

(3) 評価検証の流れ

「亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進本部」での内部検証、外部有識者で構成する「亀山市地方創生会議」での外部検証を行う。また、検証結果については市議会に報告するとともに、市HPで公表する。

地方創生関連交付金活用事業の検証結果については、必要に応じ、県を通じて国に報告する。



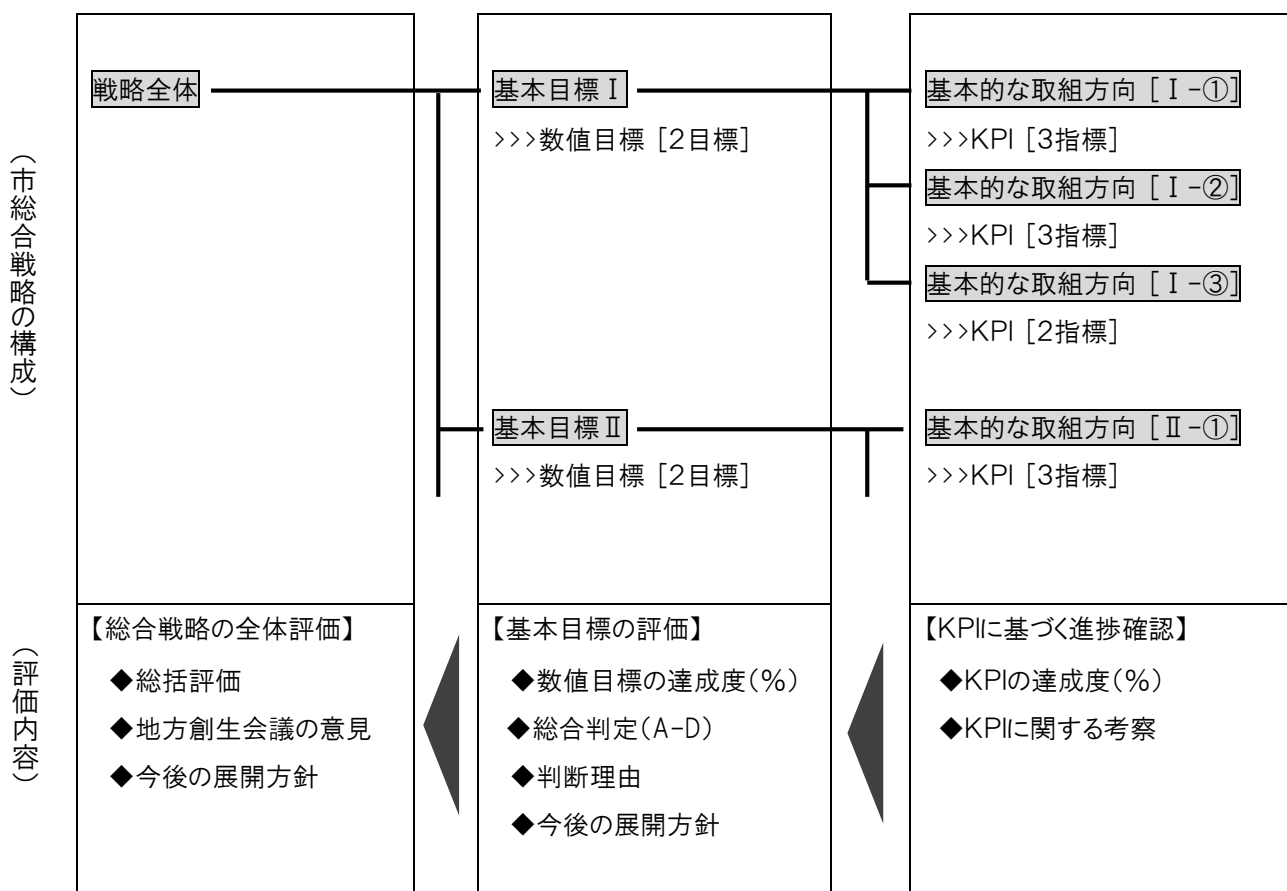
2. 評価検証の具体的な方法

(1) まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価検証

総合戦略の評価検証は、「総合戦略の全体評価」、「基本目標の評価」及び「基本的な取組方向の進捗確認」で構成する。

なお、検証にあたっては、4つの基本目標毎に設定した「数値目標」、及び10の基本的な取組方向毎に設定した「重要業績成果指標(KPI)」の達成度を確認するとともに、それらの達成状況等に重点を置いて評価する。

-総合戦略の評価検証(全体イメージ)-



【評価区分及び項目に関する説明】

①総合戦略全体

項目	記述内容
(1)総括評価	「基本目標の評価」を踏まえた戦略全体の総括
(2)地方創生会議の意見	市の総括評価に対する地方創生会議の意見
(3)今後の展開方針	「基本目標の評価」及び「地方創生会議の意見」を踏まえた戦略全体の今後の展開方針

②基本目標

項目	記述内容
(1)数値目標の進捗	実績値、達成度
(2)基本目標の評価	総合判定(A-D)、総合判定の判断理由
(3)今後の展開方針	評価を踏まえた今後の展開方針

【総合判定区分】

A:順調に進んだ B:まずまず進んだ C:少し進んだ D:進まなかった

【総合判定の基本的な考え方】

原則として、数値目標及び基本的な取組方向毎に設定した「重要業績成果指標(KPI)」の達成度に重点を置き、その他の考慮すべき事項等も勘案して、総合的に判断する。

③重要業績成果指標(KPI)

項目	記述内容
(1)KPIの進捗	実績値、達成度
(2)KPIに関する考察	KPIの推移、要因等

数値目標及びKPIの達成度について

目標値に対する実績値の達成度合いを確認するため、達成度を算定する。

〈達成度の算定方法〉

$$\text{達成度(\%)} = \text{実績値} / \text{目標値} \times 100$$

(2) 地方創生関連交付金活用事業の評価検証

① 地方創生関連交付金活用事業

交付金の種別	事業名	担当室
地方創生加速化交付金	シティプロモーション戦略事業	広報秘書室
	移住交流促進事業	企画政策室
地方創生推進交付金	若者交流推進事業	企画政策室

② 評価方法

地方創生関連交付金活用事業の評価に係る項目等については、原則として国が求める評価項目に準じ、下記のとおり項目設定して評価を行う。

項目	内容
実績	取組内容等の年度実績
効果	地方創生への効果の有無(4段階)
重要業績評価指標(KPI)	指標値及び実績値
外部有識者の総合評価	総合戦略のKPI達成への有効性の有無(2段階)、意見
今後の事業展開	改善・継続等の有無、事業展開の考え方

3. 亀山市まち・ひと・しごと創生

総合戦略の評価検証

(1)基本事項

①戦略の位置付け・目的

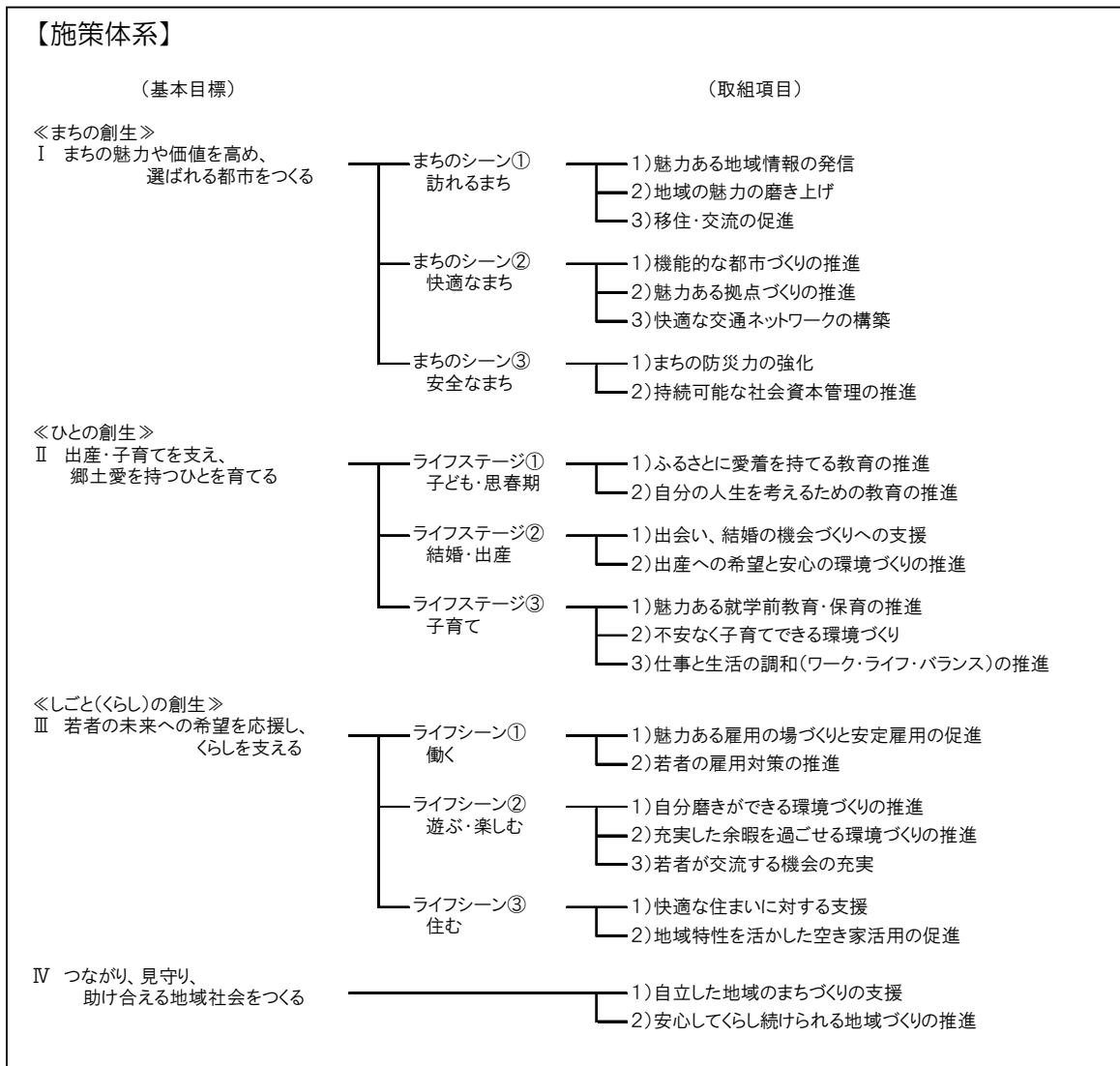
本戦略は、平成 26 年 11 月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に位置づけられる地方版総合戦略として、「亀山市人口ビジョン」と一体的に策定している。

策定にあたっては、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び、県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案するとともに、市の最上位計画である総合計画との整合を図っている。

②戦略の期間

平成 27 年度から平成 31 年度(平成 28 年度一部見直し)

③戦略の骨格



(2)戦略の評価

①総括評価

「社会増減数」及び自然増減の基となる「出生数」が現状値から上向いていないことから、人口の確保といった観点からは、現時点において本戦略の効果はまだ表れていない。

人口増減については、社会情勢などの外的要素の影響を強く受けるとともに、平成 27 年度から展開している本戦略は、実質的には一年度(平成 28 年度)での取り組みが経過したばかりであるものの、人口減少対策に係る取り組みは着実に実施しており、重要業績評価指標(KPI)が順調に進捗しているものも見られる。

このことから、平成 31 年度の目標値達成に向けた中期的な視点による改善に加え、単年度における具体的かつ着実な事業推進を図っていくことが必要である。

なお、本戦略の重点プロジェクトにおいて、「子育て」及び「若者」の分野に係る情報発信を行うため、シティプロモーション推進プロジェクトについては、平成 29 年 2 月に亀山市シティプロモーション戦略を策定して取り組みをスタートさせており、各施策の相乗効果による底上げも見込まれることから、これらの効果について注視していく必要がある。

②地方創生会議の意見

若年世代の移住・定住の促進に向け、就労環境や出会いの場の充実を図るとともに、企業と連携した男性の育児休業取得の支援など、子育てしやすい環境の充実を図ることが必要である。

情報発信については、ターゲットやエリアを絞り、より効果的に多くの人に情報を届けるとともに、市民が自ら発信していくような仕掛けが必要である。

また、亀山市は、交通拠点性など若い世代が転入しやすい要素が多くあることに加え、様々な取り組みをプラスに繋げている段階であることから、長期的な視点でプロモーションに取組み転入増を目指すとともに、地域のボランティア活動などを通じて子どもたちの地元への愛着心を育て、定住促進を図ることが重要である。

これらに加え、5万人都市は、人と人とのつながりや行政とのつながりも含めて程よい規模であることから、地域や民間との連携も視野に入れて総合戦略の推進を図られたい。

③今後の展開方針

自然増に向けた対策として、未婚の若年世代に出会いの機会を提供するとともに、子育て世代への支援を引き続き積極的に行うなど、安心して産み育てられる環境づくりを行うことにより、出生数の増加を図っていく。

社会増に向けた対策として、本市の魅力をPRすることにより交流人口の拡大を図るとともに、子どもたちが地域社会を学ぶ活動を行うなど地元への愛着心を醸成することにより、定住人口の維持を図っていく。また、企業立地の更なる促進など魅力的な雇用環境づくりを行い、若者を中心とした新たな雇用の機会を創出していくことにより、転入増を図っていく。

なお、いずれの対策においても、本戦略に位置付ける各事業については、人口減少対策の観点から事業の構築及び実施を行っていく必要がある。

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート

基本目標	I まちの魅力や価値を高め、選ばれる都市をつくる
------	--------------------------

①数値目標の進捗

項目	現状	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
社会増減数 (転入数－転出数) (人)	43 (22－26年度)	-149 (23-27)	10 (24-28)				357 (27－31年度)	3%
数値目標の説明	5年間の社会増減の合計							
目標値設定の考え方	H29.2改訂の亀山市人口ビジョンの人口展望に基づき、平成27年(4月1日:基準日)から平成32年(3月31日)までの社会増減を5年間の目標として設定した。							

項目	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
観光入込客数(人)	261,031 (26年度)	306,650	254,581				347,000 (31年度)	73%
数値目標の説明	対象施設(歴史博物館、玉屋資料館、道の駅関宿、サンシャインパーク、名阪森林パークおよび石水溪キャンプ場施設)の観光客数							
目標値設定の考え方	H29.2見直し。(総合計画の目標値と精査) 総合計画の指標は、H27年度(306,650人)に対して、地域の魅力を磨き上げ、発信することで、市内に訪れる観光客を20%増加させることを目標とした。戦略では、途中経過の値を目標値に設定。							

②基本目標の評価

【判断理由】

数値目標の「社会増減数」及び「観光入込客数」の実績値がともに現状値より減少しているものの、シティプロモーション専用サイトの構築による情報発信力の強化や、伝統的建造物群保存地区における地域資源の磨き上げなど、選ばれる都市への取り組みが進められていることから、総合判定を「C」とした。なお、「社会増減数」については、平成27年度の転出超過によりマイナスとなっていたものの、平成28年度の転入超過によりプラスに転じている。また、「観光入込客数」については、天候不良によりサンシャインパークのイベント(秋祭りなど)が中止されたことや、平成27年度に伊勢神宮で行われた式年遷宮の影響により増加していた関宿への来訪者が一昨年並みに戻ったことなどが、減少の主な要因と考えられる。

総合判定

C

少し進んだ

③今後の展開方針

市内外の様々な人に選ばれる都市の実現に向け、官民一体となった農地・森林・里山保全の取組やフィルムコミッションの取組支援、亀山版DMOの形成検討等を進め、本市が有する豊かな自然や歴史などの地域資源の磨き上げや活用を進めていく。また、自主防災組織の強化による地域防災力の向上や、木造住宅の耐震化の促進、都市インフラの強靱化を進めるなど、ソフト・ハードの両面からまちの安全性を向上させるとともに、JR亀山駅前の再開発や都市計画道路の整備等を進め、市民や来訪者にとって安全で快適なまちの実現を図る。

こうした本市の魅力について、シティプロモーション戦略に基づく全庁的な情報発信や、移住相談窓口等によるきめ細やかな相談対応を行い、定住・交流人口の増加を図っていく。

まちのシーン① 訪れるまち

①基本的な取組方向

本市の多彩な魅力の積極的なPRを行い、新たな来訪者の掘り起こしを行うとともに、地域資源に磨きをかけて更なる交流促進を図ることによって、様々な人が訪れる魅力的なまちをめざす。更に、こうした交流促進の取組により、地域活力の向上や移住・定住へつなげることをめざす。

②取組項目

- 1) 魅力ある地域情報の発信
- 2) 地域の魅力の磨き上げ
- 3) 移住・交流の促進

③重要業績評価指標(KPI)の進捗

指標	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
シティプロモーション専用サイトへの訪問者数(年間延べ人数)(人)	- (27年度)	-	7,834				100,000 (31年度)	8%
伝統的建造物群保存地区内の街道に面した建造物の修理修景事業の完了率(%)	55 (26年度)	56	57				58.8 (31年度)	97%
移住相談後の移住件数(累計)(件)	- (27年度)	-	0				15 (31年度)	0%

④重要業績評価指標(KPI)に関する考察

・シティプロモーション専用サイトへの訪問者数については、シティプロモーション専用サイトの構築が平成28年度末となり運用期間が短くなったことから、達成度が8%に留まったものの、全庁的なプロモーションの方向性を確立できた。
 ・伝統的建造物群保存地区内の街道に面した建造物の修理修景事業の完了率については、計画どおり保存地区内における建造物等の修景に対し補助を行うことができたことから、順調に進捗している。
 ・移住件数については、相談窓口の設置をはじめとして、移住フェアへの参加等を通じて移住希望者に対して情報発信や相談対応を行ったが、実際に本市へ転入した人は確認できず、実績値としてはゼロとなった。

⑤主な対象事業(参考)

(単位:千円)

取組項目名	事業名	H28年度の事業概要	予算額
			決算額
魅力ある地域情報の発信	シティプロモーション戦略事業	・シティプロモーション戦略プランの策定 ・シティプロモーション専用サイトの策定 ・シティプロモーション専門職員の配置 ・特別番組の制作	18,600
			18,590
地域の魅力の磨き上げ	伝統的建造物群保存修理修景事業	・伝統的建造物群保存地区保存事業補助金の交付	30,000
			22,622
移住・交流の促進	移住・交流促進事業	・移住相談窓口の設置(定住支援員の配置) ・全国移住フェア等への出展 ・移住体験ツアーの実施 ・移住促進パンフレットの作成	5,550
			5,357

まちのシーン② 快適なまち

①基本的な取組方向

市街地への居住誘導に向けた効率的・効果的な都市機能の誘導を図るとともに、都市の拠点と生活空間を有機的に連結することによって、市民や訪れる人にとって快適なまちをめざす。

②取組項目

- 1) 機能的な都市づくりの推進
- 2) 魅力ある拠点づくりの推進
- 3) 快適な交通ネットワークの構築

③重要業績評価指標(KPI)の進捗

指標	現状	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
立地適正化計画の策定	- (27年度)	-	計画案の策定				H29.3	85%
亀山駅周辺の再生(都市計画決定)	- (27年度)	-	未完了				H29.3	20%
都市計画道路の整備率(%)	58 (26年度)	58	58				64 (31年度)	91%

④重要業績評価指標(KPI)に関する考察

- ・立地適正化計画については、策定作業は進めたものの、平成28年度末時点においてはパブリックコメント案の作成に留まったことから、計画の策定に至っていない。なお、平成29年6月にパブリックコメントを経て策定を完了した。
- ・「亀山駅周辺の再生(都市計画決定)」については、都市計画決定には至っていないものの、都市計画決定に必要な準備のうち、亀山駅周辺まちづくり協議会等との協議や都市計画決定図書の準備を行ったことから、達成度を20%とした。(平成29年11月都市計画決定予定。)
- ・「都市計画道路の整備率」については、対象道路の完成予定時期が平成30年度以降となることから、現状値から横ばいとなっている。

⑤主な対象事業(参考)

(単位:千円)

取組項目名	事業名	H28年度の事業概要	予算額
			決算額
機能的な都市づくりの推進	水道生活基盤状況調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ・水道管網計算による水圧・水量不足の改善計画の策定 ・重要管路の耐震化基礎調査の実施 	17,371
			17,280
魅力ある拠点づくりの推進	亀山駅周辺整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・区画街路詳細設計の実施 ・区画街路補償調査・算定 ・亀山駅周辺まちづくり協議会への活動支援 ・都市計画決定図書の準備 	17,910
			12,582
快適な交通ネットワークの構築	都市計画道路整備事業(野村布気線)	<ul style="list-style-type: none"> ・排水路工事の実施 ・道路改良工事の実施 ・用地買収の実施 	394,640
			332,291

まちのシーン③ 安全なまち

①基本的な取組方向

地震・風水害などの自然災害に備えた防災力の強化に取り組むことで、だれもが住みたい安全なまちをめざす。

②取組項目

- 1) まちの防災力の強化
- 2) 持続可能な社会資本管理の推進

③重要業績評価指標(KPI)の進捗

指標	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
自主防災組織の結成率(%)	84 (27年度)	84.0	83.1				94.6 (31年度)	88%
公共施設等総合管理計画の策定	- (27年度)	-	策定				H29.3	100%

④重要業績評価指標(KPI)に関する考察

- ・自主防災組織の結成率については、自主防災組織の結成数に変化はないものの、新たに自治会が結成されたことから、現状値と比較して下降している。
- ・公共施設等総合管理計画については、予定どおり平成29年3月に策定が終了した。

⑤主な対象事業(参考)

(単位:千円)

取組項目名	事業名	H28年度の事業概要	予算額
			決算額
まちの防災力の強化	地震対策・木造住宅補強事業	<ul style="list-style-type: none"> ・無料耐震診断の実施 ・耐震補強計画策定への補助 ・耐震補強工事への補助 ・除却工事(解体工事)への補助 	77,101
			72,934
まちの防災力の強化	自主防災組織育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織結成に伴う資機材の支給 ・自主防災組織の防災資機材の購入・修繕への補助 ・防災研修会の開催 	1,313
			1,129
持続可能な社会資本管理の推進	橋梁長寿命化修繕事業	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁長寿命化修繕工事の実施 	46,064
			46,064

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート

基本目標	Ⅱ 出産・子育てを支え、郷土愛を持つひとを育てる
------	--------------------------

①数値目標の進捗

項目	現状	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
合計特殊出生率	1.58 (25年度)	1.47	-				1.65 (31年度)	89%
数値目標の説明	一人の女性が一生のうちに出産する平均子ども数							
目標値設定の考え方	亀山市人口ビジョンの人口展望に基づき、近年の上昇傾向が維持するものとして算定した将来値を目標に設定した。							

項目	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
若年世代の未婚率 (%)	男性 [20-29歳] 65.9 [30-34歳] 44.5 女性 [20-29歳] 48.3 [30-34歳] 24.7 (22年度)	[男20-29歳] 67.7 [男30-34歳] 41.9 [女20-29歳] 51.1 [女30-34歳] 26.9	-				男性 [20-29歳] 64.0 [30-34歳] 40.0 女性 [20-29歳] 45.5 [30-34歳] 24.0 (32年度)	92%
数値目標の説明	「25～29歳」、「30～34歳」の人口に占める未婚者数の割合							
目標値設定の考え方	現在、本市の男性未婚率は、県内で20代後半が8位、30代前半が18位であり、女性未婚率は、両世代ともに県内4位の数値である。男性未婚率は県内の上位5位以内、女性未婚率は県内上位3位以内に入る数値を目標に設定した。							

②基本目標の評価

【判断理由】 総合戦略に基づく施策効果が反映されない平成27年度の実績値ではあるものの、「合計特殊出生率」は低下しており、「若年世代の未婚率」についても、30～34歳男性以外の区分において上昇している。 一方、こうした数値目標の達成に向け、婚活支援事業において未婚の男女に出会いの機会を提供したり、保育所・放課後児童クラブの待機児童数が減少しているなど、各取組が着実に進められていることから、総合判定を「C」とした。	総合判定
	C
	少し進んだ

③今後の展開方針

<p>少子化の大きな要因となっている未婚化・晩婚化に歯止めをかけるため、引き続き独身男女の出会いの機会の充実を図るとともに、不妊症・不育症治療に対する支援等を行い、結婚や出産を希望する人がその願いをかなえられる環境づくりを進める。</p> <p>また、子どもの医療費や多子世帯の子育てに要する費用等に対する経済的支援を継続して行うとともに、保育サービスの充実や子育て家庭のネットワーク形成への支援を行うなど、子育てに関する不安を取り除くことができるよう取組を進め、「子育てにやさしいまち」として更なる充実を図り、魅力的な子育て支援環境を創出していく。</p> <p>このほか、子どもたちが本市に愛着と誇りを持つことができるよう、地域の歴史・文化など地域の誇りに関する学習機会の充実を図るとともに、地域と高等学校等が協力し地域課題に取り組む仕組みの構築に向け取り組んでいく。</p>

ライフステージ① 子ども・思春期

①基本的な取組方向

子どもたちが、健やかに成長することのできる環境づくりに取り組むとともに、地域への愛着と誇りを持てるよう地域を学び、地域と関わる機会づくりを進めることによって、郷土愛を持った人づくりをめざす。

②取組項目

- 1) ふるさとに愛着を持てる教育の推進
- 2) 自分の人生を考えるための教育の推進

③重要業績評価指標(KPI)の進捗

指標	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
全国学力学習状況調査において「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答する児童生徒の割合(%)	小6:32.6 中3:30.0 (27年度)	小6:32.6 中3:30.0	-				小6:45.0 中3:33.0 (31年度)	-
高等学校等と連携した取組事業件数(累計)(件)	- (27年度)	-	0				5 (31年度)	0%
職場体験学習生徒アンケートにおいて「あなたにとって進路や将来について考える機会になった」という肯定的な意見の割合(%)	82 (27年度)	-	83				85 (31年度)	98%

④重要業績評価指標(KPI)に関する考察

- ・「全国学力学習状況調査において「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答する児童生徒の割合」については、平成28年度の全国学力学習状況調査において同様の設問がなかったことから、実績値の確認が出来なかった。
- ・「高等学校等と連携した取組事業件数(累計)」については、取組を実施できなかったことから、実績は横ばいとなった。
- ・「職場体験学習生徒アンケートにおいて「あなたにとって進路や将来について考える機会になった」という肯定的な意見の割合」については、目標値を達成するペースとなっている。

⑤主な対象事業(参考)

(単位:千円)

取組項目名	事業名	事業の概要	予算額
			決算額
自分の人生を考えるための教育の推進	中学校体験活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習の実施 ・中高連携推進委員会の開催 ・生徒会研修会の開催 ・中学校人権学習会の開催 	545
			521

ライフステージ② 結婚・出産

①基本的な取組方向

出会いから結婚・出産までの継続的な支援を行うことによって、本人の希望に応じた出会いの機会づくりとともに、結婚や出産の希望がかなうまちをめざす。

②取組項目

- 1) 出会い、結婚の機会づくりへの支援
- 2) 出産への希望と安心の環境づくりの推進

③重要業績評価指標(KPI)の進捗

指標	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
婚活支援事業により出会いを得た人数(人)	- (27年度)	-	61				500 (31年度)	12%
年間出生数(人)	458 (26年度)	430	414				475 (31年度)	87%

④重要業績評価指標(KPI)に関する考察

- ・「婚活支援事業により出会いを得た人数」については、補助制度の活用がなかったことから、達成度は低水準に留まったものの、市主催の婚活イベントの実施により、一定の実績値を得られた。
- ・「年間出生数」については、減少傾向にあり現状値を下回っている。

⑤主な対象事業(参考)

(単位:千円)

取組項目名	事業名	事業の概要	予算額
			決算額
出会い、結婚の機会づくりへの支援	婚活支援事業	・婚活イベントの開催 ・婚活イベントの開催支援	1,900
			1,300
出産への希望と安心の環境づくりの推進	妊婦健康診査支援事業	・母子健康手帳の交付 ・妊婦健康診査助成券の交付 ・妊婦健康診査の公費負担 ・妊婦健康診査の県外受診分の助成	43,450
			39,946
出産への希望と安心の環境づくりの推進	不妊・不育症治療費助成事業	・不妊・不育症治療を行う夫婦に対する支援	6,000
			4,514

ライフステージ③ 子育て

①基本的な取組方向

すべての子どもたちが健やかに成長していけるよう、「亀山市子ども・子育て支援事業計画」に基づき様々な角度からの子育て世帯への支援を行い、「子育てにやさしいまち」のステップアップを図ることで、子育て世帯が住みたいまちをめざす。

②取組項目

- 1) 魅力ある就学前教育・保育の推進
- 2) 不安なく子育てできる環境づくり
- 3) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

③重要業績評価指標(KPI)の進捗

指標	現状	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
「せいかつちゃれんじシート」に取り組んだ家庭の割合(%)	62 (26年度)	64	59				80 (31年度)	74%
保育所・放課後児童クラブの待機児童数(毎年4月1日)(人)	[保育所] 9人 [放課後] 0人 (27年度)	[保] 9人 [放] 0人	[保] 6人 [放] 0人				0 (31年度)	67%
男性の育児休業取得に積極的に取り組む事業所への支援策の構築	- (27年度)	-	検討中				H28.12	0%

④重要業績評価指標(KPI)に関する考察

・「せいかつちゃれんじシート」に取り組んだ家庭の割合については、一定の達成度を確保しているものの、実績値が現状値を下回っている。
 ・「保育所・放課後児童クラブの待機児童数」については、実績値が現状値よりも改善されており、順調に進捗している。
 ・「男性の育児休業取得に積極的に取り組む事業所への支援策の構築」については現在検討中であり、構築には至っていない。

⑤主な対象事業(参考)

(単位:千円)

取組項目名	事業名	事業の概要	予算額
			決算額
魅力ある就学前教育・保育の推進	かめやまげんきっこ育成事業	・かめやまげんきっこフェスティバルの開催 ・子育て講座、リーダー養成講座の開催 ・ブックスタート事業の実施 ・中学生に対するライフプラン講座の実施	1,800
			1,478
不安なく子育てできる環境づくり	放課後子ども教室推進事業	・放課後子ども教室の開催	15,437
			13,182
仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	男女共同参画事業	・第3次亀山市男女共同参画基本計画の策定 ・三重県内男女共同参画連携映画祭の開催 ・家族の時間づくり事業の実施 ・ワーク・ライフ・バランス研修会の実施協力	822
			763

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート

基本目標	Ⅲ 若者の未来への希望を応援し、暮らしを支える
------	-------------------------

①数値目標の進捗

項目	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
若者の定住意向 （「ずっと住み続けたい」、「できれば住み続けたい」と回答する20歳代以下および30歳代の市民の割合）（％）	73.5 （27年度）	73.5%	-	-	75.0%		75.0 （30年度）	-
数値目標の説明	「ずっと住み続けたい」、「できれば住み続けたい」と回答する「20歳代以下」および「30歳代」の市民の割合							
目標値設定の考え方	現在の定住意向は、「20歳代以下」で64.8%、「30歳代」で80.3%となっている。特に「20歳代以下」の定住意向を70%にまで引き上げ、若者世代の定住意向を75%とすることを目標に設定した。							

項目	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
単位:								
数値目標の説明								
目標値設定の考え方								

②基本目標の評価

【判断理由】 基本目標に位置付ける基本的な取組方向に定めるKPIのうち、「ライフシーン①働く」に設定する「企業立地件数」については、この2年間の企業立地により150人近い新規雇用が生まれたことから、雇用環境の充実と、魅力的に働けるまちづくりに繋がっている。また、「ライフシーン②遊ぶ・楽しむ」に設定する「若者交流推進会議の登録者数」の達成度が70%となっており、若者が交流する機会の充実が図られていることから、総合判定を「B」とした。 なお、数値目標である「若者の定住意向」の実績値については、平成30年度に実施を予定している市民意識調査にて把握する。	総合判定 B まずまず進んだ
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------

③今後の展開方針

引き続き、就労の場の確保と雇用機会の創出を図るため、民間事業者による工業団地の造成や新名神高速道路の県内区間の全線開通を好機と捉え、企業誘致や既存企業の事業拡大による多様な産業を集積するとともに、亀山商工会議所や金融機関と連携した起業支援を行い、若者にとって魅力的に働けるまちの実現を目指す。

また、こうした就労環境のもとで働く若い世代の本市への定住を促進するため、空き家対策や市街地の再生なども考慮しながら、住宅取得支援制度の検討を進めていく。

余暇を快適に過ごすことができる環境をつくるため、公民館講座の開催やかめやま若者未来会議の活動などを中心に、引き続き取り組んでいく。

ライフシーン① 働く

①基本的な取組方向

新たな企業進出や、既存企業の活発な事業展開を促すとともに、地域特性を活かした新たなビジネス機会の創出を支援することで雇用環境を充実し、魅力的に働けるまちをめざす。

②取組項目

- 1) 魅力ある雇用の場づくりと安定雇用の促進
- 2) 若者の雇用対策の推進

③重要業績評価指標(KPI)の進捗

指標	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
企業立地件数(累計) (件)	2 (27年度)	2	4				6 (31年度)	67%
奨学資金等に対する支援制度の構築	- (27年度)	-	検討中				H28.12	0%

④重要業績評価指標(KPI)に関する考察

- ・「企業立地件数」については、この2年間に4件あり、平成27年度は38人、28年度は109人の計147人の新規雇用があり、雇用の創出に繋がっている。
- ・「奨学資金等に対する支援制度の構築」については、制度の検討に留まり構築を行えなかった。

⑤主な対象事業(参考)

(単位:千円)

取組項目名	事業名	事業の概要	予算額
			決算額
魅力ある雇用の場づくりと安定雇用の促進	産業振興奨励事業	・亀山市産業振興条例に基づく奨励金の交付	49,800
			48,640
魅力ある雇用の場づくりと安定雇用の促進	特産振興事業(特産品発掘育成支援)	・茶業総合振興対策事業補助金の交付 ・ふるさと特産加工グループ育成補助金の交付 ・地域特産品発掘育成支援事業補助金の交付	2,876
			2,701
若者の雇用対策の推進	商工業振興一般事業(創業・小規模事業者経営支援)	・創業セミナーの開催 ・専門家派遣による経営指導 ・小規模事業者経営改善資金利子補給制度の運用 ・小規模事業者資金融資保証料補給制度の運用	5,905
			5,808

ライフシーン② 遊ぶ・楽しむ

①基本的な取組方向

生涯を通じた自身を磨く機会の充実を図るとともに、余暇を快適に過ごすことができる環境づくりを進めることで、楽しく豊かに生活することができるまちをめざす。

②取組項目

- 1) 自分磨きができる環境づくりの推進
- 2) 充実した余暇を過ごせる環境づくりの推進
- 3) 若者が交流する機会の充実

③重要業績評価指標(KPI)の進捗

指標	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
公民館講座、行政出前講座の直近3年間の受講者数の平均(年間延べ人数)(人)	23,165 (24-26年度)	24,103	24,615				26,500 (29-31年度)	93%
市内運動施設の年間利用率(%)	74.6 (26年度)	72.0	71.9				76.0 (31年度)	95%
(仮称)若者交流推進会議の登録者数(累計)(人)	- (27年度)	-	35				50 (31年度)	70%

④重要業績評価指標(KPI)に関する考察

- ・「公民館講座、行政出前講座の直近3年間の受講者数の平均」については、実績値が現状値を上回り、順調に進捗している。
- ・「市内運動施設の年間利用率」については、施設の老朽化等の原因による利用者減のため、実績値が現状値より減少している。
- ・「(仮称)若者交流推進会議の登録者数」については、若者が交流する基盤が確保でき、順調に進捗している。

⑤主な対象事業(参考)

(単位:千円)

取組項目名	事業名	事業の概要	予算額
			決算額
自分磨きができる環境づくりの推進	中央公民館活動推進費	・中央文化講座、中央教養教室等の開催 ・各コミュニティを会場とした出前文化講座等の開催	13,484
			12,466
充実した余暇を過ごせる環境づくりの推進	西野公園運動施設改修事業	・西野公園体育館空調設備工事に係る設計業務委託	1,188
			1,188
若者が交流する機会の充実	若者交流推進事業	・かめやま若者未来会議による市行事の見学 ・かめやま若者未来会議による市行事への参画 ・まちづくり先進地への視察 ・活動報告会の開催	810
			267

ライフシーン③ 住む

①基本的な取組方向

住まいへの支援などを通じて子育て世代などの若い世代の転入を促すとともに、市街地や周辺集落などに増加する空き家の有効活用を図ることによって、若年世帯が住み良いまちをめざす。

②取組項目

- 1) 快適な住まいに対する支援
- 2) 地域特性を活かした空き家活用の促進

③重要業績評価指標(KPI)の進捗

指標	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
若者世帯向け住宅取得支援制度の構築	- (27年度)	-	検討中				H28.12	0%
空き家情報バンク登録物件の契約成立数(累計)(人)	4 (27年度)	4	8				21 (31年度)	38%

④重要業績評価指標(KPI)に関する考察

- ・「若者世帯向け住宅取得支援制度の構築」については、制度の検討に留まり構築を行えなかった。
- ・「空き家情報バンク登録物件の契約成立数」については、平成28年度に4件の新規契約が成立したことにより、順調に進捗している。

⑤主な対象事業(参考)

(単位:千円)

取組項目名	事業名	事業の概要	予算額
			決算額
地域特性を活かした空き家活用の促進	空家等対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・亀山市空家等対策の推進に関する条例の制定 ・亀山市空家等対策計画の策定 ・移住促進のための空き家リノベーション支援事業補助金の交付 	473
			228

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート

基本目標	IV つながり、見守り、助けあえる地域社会をつくる
------	---------------------------

①数値目標の進捗

項目	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
まちの住みよさ （「住みやすい」、「どちらかと言えばすみやすい」と回答した市民の割合）（%）	72.9 （27年度）	72.9	-	-	78.5	-	78.5 （30年度）	-
数値目標の説明	「住みやすい」、「どちらかと言えばすみやすい」と回答した市民の割合							
目標値設定の考え方	現在の調査で、「どちらとも言えない」と回答した市民（17.2%）のうち、3分の1の市民が住みやすいと回答することを目標に設定した。							

項目	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
数値目標の説明								
目標値設定の考え方								

②基本目標の評価

【判断理由】 基本目標に位置付ける基本的な取組方向に定めるKPIのうち、つながり、見守り、助けあえる地域社会の実現の礎となる「まちづくり計画を策定した地域まちづくり協議会の数」については、実績は上がっているものの、達成度は低水準に留まった。一方で、「健康づくり応援隊養成講座の修了者数」については順調に進捗しており、地域主体の健康づくり活動が進んでいると考えられることから、総合判定を「B」とした。 なお、数値目標である「まちの住みよさ」の実績値については、平成30年度に実施を予定している市民意識調査にて把握する。	総合判定 B まずまず進んだ
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------

③今後の展開方針

市内全地区で設立された地域まちづくり協議会が、地域まちづくり計画に基づく主体的な活動を行っていくことができるよう、全地区におけるまちづくり計画の策定に向けた支援を行うとともに、計画に基づく地域の主体的な活動を実現するため、人的、経済的支援を行っていく。 また、生涯にわたって住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めるとともに、主に高齢者に対する健康づくりや介護支援などに引き続き取り組み、安心して暮らし続けられる地域の実現を目指す。

-

①基本的な取組方向

基本的な取組方向
 地域課題の解決に向けて地域一体となった取組を支援するとともに、地域における小さな拠点づくりを進めることで、活発な活動が展開される地域社会づくりをめざす。

②取組項目

- 1) 自立した地域のまちづくりの支援
- 2) 安心して暮らし続けられる地域づくりの推進

③重要業績評価指標(KPI)の進捗

指標	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
まちづくり計画を策定した地域まちづくり協議会の数(累計)(組織)	0 (26年度)	3	4				22 (31年度)	18%
健康づくり応援隊養成講座の修了者数(累計)(人)	72 (26年度)	99	121				150 (31年度)	81%

④重要業績評価指標(KPI)に関する考察

・まちづくり計画を策定した地域まちづくり協議会は、達成度は低水準であるものの、実績値が現状値より増加しており順調に進捗している。なお、平成29年6月末現在、既に12組織が策定を完了しており、次年度の評価時においては進捗基準値を上回ることが見込まれる。
 ・健康づくり応援隊養成講座の修了者数については、平成28年度の講座修了者数が121人となり、達成度も高水準となっていることから、順調に推移している。

⑤主な対象事業(参考)

(単位:千円)

取組項目名	事業名	事業の概要	予算額
			決算額
自立した地域のまちづくりの支援	地域コミュニティのしくみづくり支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・亀山市地域まちづくり協議会条例の周知 ・地域予算制度の制定・周知 ・地域担い手育成研修会の開催 ・地域活性化支援事業補助金の交付 など 	1,977
			1,915
安心して暮らし続けられる地域づくりの推進	健康づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進協議会への活動支援 ・健康づくり応援隊養成講座の開催 ・トレーニング室開放事業の実施 	2,752
			2,064
安心して暮らし続けられる地域づくりの推進	地域包括支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターによる高齢者の総合相談等の実施 ・地域での総合的なネットワークの構築による高齢者支援 ・在宅介護支援センターを設置及び認知症サポーターの育成 	49,886
			46,164

4. 地方創生関連交付金活用事業の 評価検証

総括評価

(1) 事業別の決算額および重要業績評価指標（KPI）の達成状況について

内閣府から交付を受けて、平成 28 年度に事業を実施した地方創生加速化・地方創生推進交付金事業の効果および重要業績評価指標（KPI）の達成状況等については、以下のとおりである。

事業名	区別	決算額（円）	効果
シティプロモーション戦略事業	地方創生加速化交付金	18,590,000	地方創生に相当程度効果があった
移住・交流促進事業	地方創生加速化交付金	5,357,000	地方創生に効果があった
若者交流推進事業	地方創生推進交付金	267,000	地方創生に非常に効果的であった

(KPIの達成状況に基づく効果の判断の目安)

評価区分	KPIの達成状況
1. 地方創生に非常に効果的であった	KPIの実績値が指標値を上回っている
2. 地方創生に相当程度効果があった	KPIの実績値が指標値を上回ることはなかったものの相当程度達成した
3. 地方創生に効果があった	KPIの実績値が指標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善した
4. 地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が、事業開始前の数値よりも悪化している

(2) 事業の主な効果

《しごと（くらし）の創生》

若者交流推進事業では、かめやま若者未来会議を設置したことで、若者同士が交流する基盤を確保できたとともに、市の事業における主体的な参画を促進できたことから、楽しく豊かに生活することができる環境づくりにつながった。

《まちの創生》

シティプロモーション戦略事業では、シティプロモーション戦略を策定し、また、「住めば、ゆうゆう。」というキャッチフレーズを設定するなど全庁的なプロモーションを行う方向性を確立できたことから、本市の多様な魅力を強力にアピールできる土台ができた。

また、移住交流促進事業では、移住に関する総合的な相談にワンストップで対応する移住相談窓口を設置するとともに、移住フェアや移住体験ツアー等で情報発信を行い、本市の魅力をPRできたことから、本市へ移住しやすい環境づくりが行えた。

事業効果検証シート

1. 基本事項

事業名称	シティプロモーション戦略事業	部室名	企画総務部広報秘書室
施策体系	基本目標	まちの魅力や価値を高め、選ばれる都市をつくる	
	シーン・ステージ	訪れるまち	
	取組項目	魅力ある地域情報の発信	
	重点プロジェクト	シティプロモーション推進プロジェクト	

2. 事業計画

背景・概要	【目的】 新たな視点での魅力づくりとしての施策である亀山ブランドの確立と、効果的な情報発信を行うことにより、“亀山ファン”を増やし、定住人口の維持と交流人口の拡大を図る。		
	【概要】 ①魅力づくり ・シティプロモーション戦略の策定 ・戦略ターゲット及び当市のストロングポイント等を明確化するための市民調査 ・ブランドコンセプトやロゴマークの設定 ②効果的な情報発信 ・シティプロモーション専用WEBサイトの構築 ・PR大使、PRサポーター制度の導入（YouTubeへの動画掲載やブログなどでの情報発信） ・動画媒体制作やインターネット上の広告欄等を活用した情報発信（インターネット閲覧者による情報発信）		
対象経費の内訳 (単位：千円)	●会議に伴う経費（406） ●ワークショップの開催に伴う経費（160） ●トップセールスに伴う経費（134） ●メディア戦略策定・シティプロモーション専用HP制作費等（13,560） ●特集番組制作費（1,614） ●マーケティング等の専門知識を有した職員の任用（非常勤職員）賃金等（2,626） ●その他関係経費（100）		
事業費			
	予算額（円）	決算額（円）	執行率（％）
	18,600,000 (0)	18,590,044 (0)	99.9

() 内は、一般財源額を示す。

3. 事業の取組成果

実績	●シティプロモーション戦略の策定（平成29年2月） 外部有識者などで構成するシティプロモーション推進委員会の開催（2回） キャッチフレーズ「住めば、ゆうゆう。」の設定 戦略概要版（200部）の印刷 シティプロモーションPRボード（1基）の作成 シティプロモーション職員用ネックストラップ（1,500個）の作成 ●シティプロモーション専用ホームページの開設（平成29年3月） ライフスタイルインタビュー（7名） 「亀山のここが好き！」フリップサポーター（12名） イベントカレンダー、ニュース情報の掲載 ホームページ開設周知チラシ（5000部）の印刷 サイト誘導広告（ヤフー・グーグル検索連動型広告）の実施 ※上記2項目は、シティプロモーション推進事業業務委託により支援 ●シティプロモーション専門職員の配置（1名） ●特別番組の制作（6月、7月放送） 名誉市民「中村晋也氏」特集番組の制作・放送（10分×2編）		
効果	2	1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に対して効果がなかった	(理由) シティプロモーション戦略を策定し、重点プロモーションのテーマを移住・定住促進、メインターゲットを子育て世代とし、また、「住めば、ゆうゆう。」というキャッチフレーズを設定し、全庁的なシティプロモーションの方向性を確立することができた。また、シティプロモーション専用ホームページを開設し、市民を巻き込んだライフスタイルインタビューの掲載など、亀山ファンの増加を狙った事業展開ができた。

4. 重要業績評価指標 (KPI)

指標名称	指標値	実績値	単位	目標年月
シティプロモーションの活動を担う人材数	30	19	人	平成29年3月
シティプロモーション専用サイト訪問者数	1,000	7,834	人/月	平成29年3月
民間企業等とのタイアップ企画数	2	0	回	平成29年3月

5. 外部有識者の総合評価

総合戦略KPI 達成への有効性	1	<p>1. 本事業が総合戦略のKPI達成に有効であった</p> <p>2. 本事業は総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった</p>
意見		<p>シティプロモーション戦略の策定や専用HPの作成など、情報発信のツールが確立されたことから、今後は、これらをどう活用していくかが重要である。このことから、亀山市ならではの魅力を精査し、情報発信に強弱をつけることで亀山市の強みを積極的にPRしていく必要がある。</p> <p>また、シティプロモーション専用ホームページの検索実績を分析するなど、ターゲットである子育て世帯や若者世代が求める情報やイベントを把握し、効果的な情報発信を行うとともに、内容を頻繁に更新することで、常に新鮮な情報を発信できるような体制の確保が必要である。</p>

6. 今後の事業展開

今後の方針	4	<p>1. 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる</p> <p>2. 事業内容の見直し（改善）を行う（行った）</p> <p>3. 特に見直しを行わず、事業を継続する</p> <p>4. 継続的な事業実施を予定していたが一部変更をする（した）</p> <p>5. 当初の予定通り事業を終了した</p>
今後の事業展開 の考え方		<p>シティプロモーション戦略を策定することはできたが、それを推進するために、職員に対する意識啓発や庁内の推進体制づくりを進める必要がある。</p> <p>情報を広く発信するためには、庁内だけでなく、外部団体と協働や連携し、キャッチフレーズやロゴを活用したシティプロモーション活動を展開する必要がある。</p> <p>シティプロモーション専用ホームページが多くの方に利用していただけるよう、定期的に内容を更新・充実する必要がある。また、そのためには、イベントやニュース情報の取得・掲載方法を確立する必要がある。さらに、専用ホームページ自体の認知度を向上させるため、メインターゲットを意識して保育園や幼稚園などを通じた周知活動を行う必要がある。</p> <p>市内の子育て世帯の定住促進や近隣市町の子育て世帯の移住促進につながるような、具体的なシティプロモーションの取組について更なる検討を行う必要がある。</p> <p>なお、地方創生関連交付金の交付状況に応じて、事業の進捗を図る必要がある。</p>

事業効果検証シート

1. 基本事項

事業名称	移住・交流促進事業	部室名	企画政策室
施策体系	基本目標	まちの魅力や価値を高め、選ばれる都市をつくる	
	シーン・ステージ	訪れるまち	
	取組項目	移住・交流の促進	
	重点プロジェクト	—	

2. 事業計画

背景・概要	【目的】 持続可能なまちづくりのため、人口ビジョンに示した展望における2060年の人口概ね5万人の維持に向け、本市への移住を促進し転入者の増加を図ることで、社会増による人口維持を目指す。	
	【概要】 ①三重県との連携 ・移住・交流担当者による研修会 ・三重県移住相談会への出展 ②市の取り組み ・移住相談窓口の設置（移住に関する総合的なワンストップ相談窓口） ・全国移住フェアへの出展 ・移住体験ツアーの実施 ・移住促進パンフレットの作成	
対象経費の内訳 (単位：千円)	<ul style="list-style-type: none"> ●移住フェア等参加旅費等 (424) ●移住促進パンフレット等作成委託料等 (1,700) ●田舎暮らし体験ツアー開催委託料等 (800) ●定住支援員の配置賃金 (2,626) 	
事業費		
予算額 (円)	決算額 (円)	執行率 (%)
5,550,000 (0)	5,357,000 (315)	96.5

() 内は、一般財源額を示す。

3. 事業の取組成果

実績	<p>【三重県との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●移住・交流担当者による研修会への出席 (2回) ・亀山市坂下地区及び鳥羽市中町地区で開催された研修に参加し、まちの魅力をPRする手法を学んだ。 ●三重県移住相談会への出展 (東京1回) ・三重県主催の移住相談会に県内の10市町が参加。来場者数10組11名 (亀山市相談件数2件)。 <p>【市の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●移住相談窓口の設置 ・定住支援員 (1人) を配置。(窓口での移住相談件数12件) ●全国移住フェアへの出展 (大阪1回、東京2回) 移住施策に積極的に取り組む全国の自治体が集まり、まちの魅力のPRや情報発信を行った。 ・大阪「おいでや! いなか暮らしフェア」(出展176自治体、来場者数約3,000人、亀山市相談件数5件) ・東京「第12回ふるさと回帰フェア2016」(出展346自治体、来場者数約18,000人、亀山市相談件数12件) ・東京「JOIN移住・交流&地域起こしフェア」(出展466自治体、来場者数約8,500人、亀山市相談件数8件) ●移住体験ツアー (1回) ・平成28年11月に開催。参加者2組3名に対し、関宿の案内や先輩移住者との交流等を行った。 ●移住促進パンフレットの作成 (3,000部) ・市内の移住者へのインタビューを掲載。東京ふるさと回帰支援センターなど都市部の施設を中心に配架するとともに、移住フェア等において配布し本市のPRに活用。
効果	<p>3</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に対して効果がなかった <p>(理由) 移住に関する総合的な相談にワンストップで対応するため、移住相談窓口を設置するとともに、インターネットや移住フェア等を通じて、主に都市部の住民に対して情報発信を行った。また、本市に触れてもらう機会を創出するために移住体験ツアーを実施し、本市の魅力PRすることができた。</p>

4. 重要業績評価指標 (KPI)

指標名称	指標値	実績値	単位	目標年月
移住相談窓口等を通じた市外からの移住者数	10	0	人/年度	平成29年3月

5. 外部有識者の総合評価

総合戦略KPI 達成への有効性	1	<p>1. 本事業が総合戦略のKPI達成に有効であった</p> <p>2. 本事業は総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった</p>
意見		<p>亀山市の特徴は、職・住のバランスがとれた「総合的な住みやすさ」であることから、そのような視点でのPRを積極的に行い、県内他市町との差別化を図る必要がある。</p> <p>情報発信にあたっては、滋賀県や鈴鹿市など、近隣エリアに向けた発信を強化するとともに、子育て世代や若者にターゲットに絞りこむなどして集中的に情報発信を行うことにより、費用対効果の向上に結び付くのではないかと考えられる。</p> <p>また、より積極的に情報発信を行うことで亀山市の認知度を上げ、移住相談につながる人の「母数」を増やしていくとともに、庁内部局間と移住相談窓口との連携・協力体制を強化するなどして、移住・定住の実績につなげられるよう、より一層のサポートの充実を図られたい。</p>

6. 今後の事業展開

今後の方針	4	<p>1. 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる</p> <p>2. 事業内容の見直し（改善）を行う（行った）</p> <p>3. 特に見直しを行わず、事業を継続する</p> <p>4. 継続的な事業実施を予定していたが一部変更をする（した）</p> <p>5. 当初の予定通り事業を終了した</p>
今後の事業展開 の考え方		<p>本市に魅力を感じてもらえるよう、移住を検討する人にとって訴求力のある情報を見極めて、積極的な情報発信や移住体験ツアーを実施する。</p> <p>また、移住希望者の円滑な移住につながるよう、空家や仕事の紹介など庁内の関係部署との連携を強化し、ワンストップ相談窓口としての情報の充実を図るとともに、移住相談窓口を通じた移住者について把握を行っていく。</p> <p>このほか、移住希望者の地域への定着を支援するため、移住者受入意向について調査を行うなど、地域と連携し、その実情に合わせた移住支援体制を検討していくことが必要である。</p> <p>なお、地方創生関連交付金の交付状況に応じて、事業の進捗を図る必要がある。</p>

事業効果検証シート

1. 基本事項

事業名称	若者交流推進事業	部室名	企画政策室
施策体系	基本目標	若者の未来への希望を応援し、暮らしを支える	
	シーン・ステージ	遊ぶ・楽しむ	
	取組項目	若者が交流する機会の充実	
	重点プロジェクト	若者の暮らし充実プロジェクト	

2. 事業計画

背景・概要	<p>【目的】 若者の力によって地域の活力を生み出し、更には出会いにもつなげられるよう、若者同士の交流を促進する機会の創出を図るとともに、市の事業における若者の積極的な参画を促進し、地域の活性化を図る。 また、若者の地元愛の醸成を図ることにより、若い世代の定住促進に繋げる。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者交流推進会議（仮称）の設置（交流の基盤の確保） ・メンバー会議の開催 ・市の事業への参画（見学、出展など） ・まちづくり人材の育成（先進地の視察、スキルアップ研修など） 		
対象経費の内訳 (単位：千円)	<ul style="list-style-type: none"> ●メンバー会議開催に要する費用（230） ●先進地視察に要する費用（296） ●その他（284） 		
事業費			
	予算額（円）	決算額（円）	執行率（％）
	810,000 (405,000)	267,000 (138,000)	33

() 内は、一般財源額を示す。

3. 事業の取組成果

実績	<ul style="list-style-type: none"> ●かめやま若者未来会議（愛称：わかめ）の設置 ●かめやま若者未来会議の登録者数：35人（平成29年3月時点） ●市の行事の見学（2回） <ul style="list-style-type: none"> ・閑宿納涼花火大会 ・亀山青空お茶まつり ●市の行事への参画（出展）（1回） <ul style="list-style-type: none"> ・あいあい祭りにて揚げパンを販売 ●まちづくり先進地への視察（1回） <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県新城市 ・新城市若者議会、「どやばい村プロジェクト」などについて視察 ●メンバー会議の開催：8回 <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容の検討や出展準備など ●活動報告会の開催（1回） <ul style="list-style-type: none"> ・かめやま若者未来会議の活動報告 ・石阪教授（地方創生会議会長）による講演「若い力と地域の元気」 ・三重大農業サークル「農らく」による事例発表 		
効果	1	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に対して効果がなかった 	<p>(理由)</p> <p>かめやま若者未来会議（愛称：わかめ）を設置したことで、若者同士が出会い、交流を促進する基盤を確保できた。 また、市の行事への出展や見学、まちづくり先進地への視察等の活動を通し、市内外の取組について学び、体験するとともに、市の事業における主体的な参画を促進することができた。</p>

4. 重要業績評価指標 (KPI)

指標名称	指標値	実績値	単位	目標年月
若者会議の登録者数（累計）	20	35	人	平成29年3月
若者会議が参画した市の事業・イベント数	1	1	件	平成29年3月
若者会議が立案・実施した事業・イベント数				

5. 外部有識者の総合評価

総合戦略KPI 達成への有効性	1	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本事業が総合戦略のKPI達成に有効であった 2. 本事業は総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
意見		<p>「かめやま若者未来会議」は、若者どうしの異業種交流を主な目的として活動していくことが重要である。このため、出会いの場を提供する婚活イベント等とは差別化を図る必要がある。</p> <p>また、メンバーは随時募集であるが、定期的な募集告知や事業者への広報など、メンバー募集の情報発信を積極的に行うことが、新メンバーの獲得に有効であろうと思われる。</p> <p>今後は、市の課題の解決など、明確なテーマやミッションを持たせた取組を行うとともに、就労できない若者や地域の団体等に参加していない若者など、世間と接点の少ない若者も引き入れるような工夫をすることにより、こうした若者たちが活躍できる場づくりの機会を提供していくことも求められる。</p>

6. 今後の事業展開

今後の方針	2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し（改善）を行う（行った） 3. 特に見直しを行わず、事業を継続する 4. 継続的な事業実施を予定していたが一部変更をする（した） 5. 当初の予定通り事業を終了した
今後の事業展開 の考え方		<p>35人の登録者数を確保できたが、大半が社会人であることから、多種多様な若者同士の交流を促進するため、大学生を募集するなどメンバー構成の多様性を確保するとともに、より主体的に活動を行ってステップアップし、地域を活性化していくための人材育成を行うことが必要である。</p> <p>上記の課題を踏まえ、近隣の大学等に情報発信を行う等、様々な人に参加してもらえるようにメンバー募集を行っていく。</p> <p>また、より楽しく交流でき、主体的に活動したくなるような場づくりを行うことで、かめやま若者未来会議への参加の意欲を高め、主体的に活動するメンバー数を充実させていくとともに、人材育成を視野に入れた研修やまちづくり先進地の視察を行っていく。</p>

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略
平成28年度対象事業一覧

01:まちの魅力や価値を高め、選ばれる都市をつくる

01:訪れるまち

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:魅力ある地域情報の発信	ホームページ情報発信事業	広報秘書室	○	シティ
	シティプロモーション戦略事業	広報秘書室	○	シティ
	まちづくり観光推進事業	観光振興室	○	シティ
02:地域の魅力の磨き上げ	伝統的建造物群保存修理修景事業	まちなみ文化財室	○	
	関の山車会館整備事業	まちなみ文化財室	○	
	観光施設管理費（Wi-Fi化）	観光振興室		
	みえ森と緑の県民税町交付金事業	森林林業室	○	
	森林環境創造事業	森林林業室	○	
	中山間地域等直接支払交付金事業	農政室	○	
	多面的機能支払事業	農政室	○	
	中山間地域活性化事業	農政室		
03:移住・交流の促進	移住・交流促進事業	企画政策室		

02:快適なまち

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:機能的な都市づくりの推進	水道生活基盤状況調査事業	上水道室	○	
02:魅力ある拠点づくりの推進	亀山駅周辺整備事業	都市計画室	○	
03:快適な交通ネットワークの構築	地域生活交通再編事業	商工業振興室	○	
	都市計画道路整備事業（和賀白川線）	道路整備室	○	
	都市計画道路整備事業（野村布気線）	道路整備室	○	
	高速交通促進事業	企画政策室		

03:安全なまち

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:まちの防災力の強化	地震対策・木造住宅補強事業	危機管理室	○	
	橋梁耐震化補強事業	維持修繕室	○	
	自主防災組織育成事業	危機管理室		
	活動費（消防団充実強化）	消防総務室		
02:持続可能な社会資本管理の推進	橋梁長寿命化修繕事業	維持修繕室	○	
	舗装老朽化対策事業	維持修繕室	○	

02:出産・子育てを支え、郷土愛を持つひとを育てる

01:子ども・思春期

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
02:自分の人生を考えるための教育の推進	中学校体験活動支援事業	教育研究室		

02:結婚・出産

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:出会い、結婚の機会づくりへの支援	婚活支援事業	企画政策室		若者
02:出産への希望と安心の環境づくりの推進	妊婦健康診査支援事業	長寿健康づくり室	○	子育て
	不妊・不育症治療費助成事業	長寿健康づくり室	○	子育て

03:子育て

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:魅力ある就学前教育・保育の推進	かめやまげんきっこ育成事業	子ども家庭室		子育て
	幼児教育推進事業	教育研究室		子育て
02:不安なく子育てできる環境づくり	福祉医療費助成事業(子ども：市制度)	保険年金室	○	子育て
	福祉医療費助成事業(県制度)	保険年金室		子育て
	児童手当給付事業	保険年金室		子育て
	放課後子ども教室推進事業	生涯学習室	○	子育て
03:仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	男女共同参画事業	共生社会推進室		子育て

03:若者の未来への希望を応援し、暮らしを支える

01:働く

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:魅力ある雇用の場づくりと安定雇用の促進	産業振興奨励事業	商工業振興室	○	
	特産振興事業(特産品発掘育成支援)	農政室		
02:若者の雇用対策の推進	商工業振興一般事業(創業・小規模事業者経営支援)	商工業振興室		

02:遊ぶ・楽しむ

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:自分磨きができる環境づくりの推進	中央公民館活動推進費	生涯学習室		
02:充実した余暇を過ごせる環境づくりの推進	西野公園運動施設改修事業	文化スポーツ室	○	若者
	文化会館等大規模改修事業	文化スポーツ室	○	若者
	総合型地域スポーツクラブ育成事業	文化スポーツ室		
03:若者が交流する機会の充実	若者交流推進事業	企画政策室		若者

03:住む

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
02:地域特性を活かした空き家活用の促進	空家等対策事業	営繕住宅室		

04:つながり、見守り、助けあえる地域社会をつくる

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:自立した地域のまちづくりの支援	地域コミュニティのしくみづくり支援事業	地域づくり支援室	○	
	市民活動応援事業	共生社会推進室	○	
	総合環境研究センター事業	環境保全室		
	市民活動支援事業（協働の仕組み見直し）	共生社会推進室		
02:安心して暮らし続けられる地域づくりの推進	健康づくり事業	長寿健康づくり室		
	がん検診推進事業	長寿健康づくり室	○	
	予防接種費用助成事業	長寿健康づくり室	○	
	特定健康診査・特定保健指導事業	保険年金室	○	
	介護予防事業	長寿健康づくり室	○	
	地域包括支援事業	長寿健康づくり室	○	
	地域生活支援事業	長寿健康づくり室	○	
	三重大学亀山地域医療学講座支援事業	長寿健康づくり室	○	

